

TO THE NEXT STAGE

狭山市立中央中学校
進路だより 第5号
令和5年6月12日(月)



説明会等の案内

学校名	内容	日程	申し込み方法等
県立 浦和第一女子 高等学校	学校説明会 授業公開	6/17, 8/18, 9/16, 10/7, 11/11	ホームページで申し込み
私立 日本体育大学 桜華高等学校	学校説明会	10/15, 10/22, 11/4, 11/12, 11/23, 12/2	ホームページで申し込み
	オープンキャンパス	7/30, 8/26	
	個別相談会	12/10, 12/16	
私立 白梅学園高等学校	学校見学会	7/22, 7/29, 8/19	ホームページで申し込み
	体験入学	8/26	
	学校説明会	10/15, 10/22, 10/28, 11/11, 11/18, 11/23, 11/25, 12/2	
私立 東亜学園高等学校	学校見学会・ 説明会・相談会 学校見学会	7/22, 7/26, 7/29, 8/17, 8/25, 8/26	ホームページで申し込み
私立 文華女子高等学校	学校説明会	7/23	ホームページで申し込み
	体験講座	8/5	
	部活動体験会	8/20	
私立 織田学園中野 高等専修学校	体験入学・ 保護者説明会	7/1, 7/15, 7/29, 8/5, 8/19, 8/26	電話(03-3228-5255)か ホームページで申し込み
私立 小山工業 高等専門学校	学校説明会	6/25, 10/7, 12/2	詳しくはホームページへ
	オープンキャンパス	8/5(午後)	
	公開講座	7月下旬~3月上旬	
私立 国際高等専門学校	進学説明会	オンライン 6/4, 7/22	ホームページで申し込み
	学校見学会	7/22	
	オープンキャンパス	8/5, 8/6	
私立 東京武蔵野 美術学院	体験授業	7/9, 7/16, 7/21, 7/22, 7/23, 8/24	詳しくはホームページへ
国立 館山海上技術学校	オープンスクール	Web式 7/26, 8/21, 対面式 7/1, 8/26, 9/16, 10/14	詳しくはホームページへ
	学校説明会	11/11	

(裏へつづく)

進路の先にあるもの その4～イタリア^{やまあい}山間の食堂～



イタリア家庭料理のチェーン店「サイゼリヤ」に行くと、聞き慣れないメニューがありました。「フリウリ風フリコ」。語呂の良い名前を日本人が適当に付けたのかと思いきや、実際にイタリアにはフリウリ地方があり、家庭料理「フリコ」があるのです。モンタージオと呼ばれるチーズとじゃがいもを使って作る料理で、手間暇をかけるほどおいしくなると言われています。

さてイタリア北部にはサウリスという山に囲まれた小さな村があります。非常に自然豊かな土地であり、景観は他には代え難いほど素晴らしいもので、その美しさに魅了されない人はいません。この自然の恵みを楽しむため、多くの人々がこの地域を訪れるのも当然のこと。夏にはトレッキング、マウンテンバイク、乗馬、冬にはスキー等を楽しむ人々が主にヨーロッパ各地から集まってきます。

村にある山の中腹に、一軒の小さな食堂があります。店を営むのはデルナ・ペトリスさんという80歳のおばあちゃん。山間^{やまあい}にあるにもかかわらず、店は登山や観光で訪れた人でいつも賑わっています。このデルナさんの作る数ある料理の中にも「フリコ」があります。デルナさんは毎日のように朝の暗いうちから一人でフリコを作り始めます。手間をかけるほうがおいしくなるとわかっているからです。これがおいしくないわけがないですね！お客さんは皆デルナさんの料理に舌鼓を打ちます。それだけでなく、悲しい時、嬉しい時、デルナさんはいつでも真剣に話を聞いてくれるのです。誰にでも優しいデルナさんですが、その陰には深い悲しみがあります。10年ほど前に長男のジュゼッペさんを36歳の若さで亡くしているのです。「息子を亡くした悲しみが深いからこそ、私は人にやさしくできるのよ。」以前は毎日町まで降りていき、息子の墓参りをしていましたが、10年経ってデルナさんも高齢となり、かつてのように村へ降りることもめっきり減りました。そのかわりに今も寝る前に息子の事を思って毎日ろうそくに火をともします。「食堂で一人暮らしだけど、息子の存在をいつもそばに感じているの。今の暮らし方が気に入っているのよ。きっと私は幸せなのね。」



私（本橋）は、彼女が古き良き歴史と豊穡の大地を持つイタリアで、気候や風土に逆らわず、共存しながら心豊かに生きているからこそ幸せを感じられるのだなあと感じます。彼女にとっての「仕事」とは、食堂を営むということだけでなく、亡き息子を思いながらお客さんの話に耳を傾け、優しさを周囲の人すべてに振りまき、おいしい料理を提供し続けることなのですね。そしてそれが彼女の幸福感を形作っているような気がします。

喜びも悲しみも、その胸に抱えながら、彼女の穏やかな時間は、日々続いています。